

## 第2回 ACP メイトミーティング (2019/6/19)

### グループワーク「活動開始後にわかった課題」

- ・まだ実施の経験のないメンバーが多い
- ・実施のタイミングが難しい（健康状態良好な人についても《特に包括》、予後の短い人についても）
- ・支援を求めている人に実施することは困難.
- ・主治医に黙って実施するのはよくないであろう、何らかの方法で連絡が必要.
- ・本人、家族の状況が整っているケースから開始している。成功体験が重要.
- ・病院の外来では ACP があると助かる.
- ・意思の推定には、ケアマネジャーの持っている意向についての情報が重要.
- ・地域住民への啓発は地域包括が主役となるべき.
- ・主治医の意識との間にギャップが大きい。医師への啓発がもっと必要.
- ・知名度はまだまだ。医師から啓発してもらうのが有効では？
- ・家族が遠隔地、強い・声の大きい家族に引っ張られることがある、など家族の問題
- ・1対1で作成する場合、チームで対処していないことや、責任の問題があるのでは.
- ・「私の心づもり」で難しかったことがある。別ツール（例、SPICT）の検討が必要かも.
- ・啓発の方法として、回覧板に入れる、相談窓口の設置といったことも考えられるのでは.
- ・ACP に正解はない。正しい ACP とは？と難しく考えず、気楽に考えることも大切.